

「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

森脇肇子

早秋の全面刈り作業

2018年10月3日(水) 9:00~14:30

作業項目：①特別保護区の拡張 刈り払い機で特別保護区の刈り取り面積を拡大する
：②植生調査 調査区 2-6の植物相調査・植生調査

参加者：斧田一陽、田島聖子、森脇肇子(3名)

作業内容：参加者約40名が2班に分かれて作業した。この日JACのメンバー3名は、台風で倒れた倒木を取り除く作業を行った。午前中は、特別保護区内の眺望点付近に倒れていた大きなアカマツの倒木を取り除いた。斧田が倒木を運び易いようにノコギリで細かく切り分けていき、それを田島と森脇が廃棄場所まで何度も運んだ。続いて午後からは、東お多福山バス停までの登山道の倒木を取り除いていった。途中、古い大木が根こそぎ倒れて一部道が無くなっているところが少なくとも2か所はあった。斧田は無くなった登山道を作り直すのに、植物の生えていない急斜面の土を少し削り、歩き易いようにしていった。田島・森脇はその周りのネザサを刈り取ったり、斧田が作り直した登山道がハイカーにわかるように、赤いテープを木に巻きつけて目印にしたり。小職は東お多福山の保全活動を行って約4年になるが、今回のように台風で酷く登山道が様変わりしている状態を初めて見た。改めて保全活動の大切さを実感した。



特別保護区拡張作業



台風による倒木取り除き作業